

名探偵ポアロ ポアロ登場

読んだら
チェック!

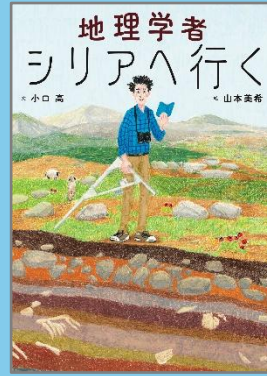
アガサ・クリスティー／著 真崎義博／訳
早川書房 (2022年)



めいたんてい
名探偵エルキュール・ポアロと相棒ヘイスティングズが、数々の難事件を解決する14作品の短編集。なかでも「チョコレートの箱」はポアロが唯一失敗した事件。読みながら自分なりの推理に挑戦してみては？

地理学者シリアへ行く

小口高／文 山本美希／絵
アリス館 (2025年)



地理学者の仕事は、地形や地層の土を調べて、数万年前の風景や、人々の暮らしをえがき出すこと。大規模な調査は、世界から集まる学者とキャンプを手伝う人たちとで、国際色豊かな合宿のようです。

絵画をみる、絵画をなおす 保存修復の世界

田口かおり／著 偕成社 (2024年)



物はいつか壊れ、消えます。美術品もまた同じ。昔から多くの感動を与えてきた作品を今見られるのは、守り、残そうとしてくれた人々がいたからです。歴史をつなげるために私たちはどうすればよいのでしょうか。

もしも明日、ぼくの足がなくなったら

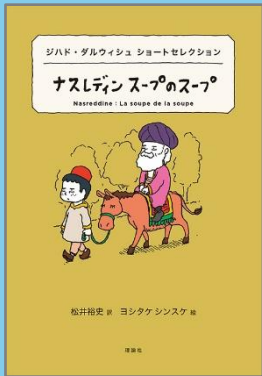
舟崎泉美／著
Gakken (2025年)



ある日とつぜん身体の一部を失うことは、実はだれにでも起こり得ること。さまざまな理由で足を失った5人はどのように現実を受け入れて、どのようにくらしているのでしょうか。

ナスレディン スープのスープ

ジハド・ダルウィシュ／著 松井裕史／訳
ヨシタケシンスケ／絵
理論社 (2023年)



中東の国の昔話をまとめた本です。それぞれの話がとても短く読みやすいです。また、ストーリーははっきりしていてわかりやすいです。思わず「クスッ」と笑ってしまうお話もたくさん入っていますよ。

1945年8月6日

あさ8時15分、わたしは

原爆を体験した子どもたち／言葉 いわさきちひろ／絵
童心社 (2025年)



原爆を体験した人たちが書いた文章を、1冊にまとめた本です。当時子どもだった筆者から見えていた世界と、みなさんが今見えている世界を比べてみてください。

図書館のこどもページにもすいせん図書がのっています！

こどもページ (<https://www.lib.fussa.tokyo.jp/kids/>) をチェックしてみてね。

おすすめの本やイベントのお知らせがのっているよ。

福生市立図書館 令和8年6月発行

